

年 組 名前：

県教員試験「小1問題」対応へ 幼稚園免許で加点

山梨県教委は17日、2023年度の公立学校教員採用試験で、小学校の受験希望者のうち「幼稚園教諭」の免許取得

得者（取得見込み者含む）に対し、1次試験の得点に5点を加点すると発表した。幼稚園教諭の免許を持つ教員を増やし、小学1年生が学校に適應できない「小1プロブレム」に対応できる人材を確保する狙いがある。

県教委によると、教育現場では、遊び中心の幼児教育から教科学習の小学校に環境が変わると、子どもが授業中に座っていられず、集団行動が取れないなどの状態が続く。「小1プロブレム」が課題。県教委は小1プロブレムに対応できる人材を積極的に採用するため、23年度の小学校の受験希望者のうち、幼稚園教諭の免許取得者に1次試験の合計点に5点を加えることにした。

幼稚園教諭の免許取得者への加点は、宮城県が22年度の採用試験で特別支援学校の受験希望者を対象に導入しており、小学校の受験希望者へは全国初の取り組みという。

23年度採用の公立学校教員の志願状況は261人程度の

採用予定に対し、800人（前年度比99人減）が出願。記録が残る00年度以降で最少となり、5年連続で千人を割り込んだ。全体の内定倍率は2・8倍（前年度比0・2割減）で、記録が残る11年度以降で過去最低だった。

県教委は教員のなり手不足を受け、受験者増に向けた取り組みを強化している。23年度の採用試験は県外会場でも実施を検討。小学校教員の初回受験者を対象に、一定期間の勤務を条件に日本学生支援機構の奨学金の返還の一部を支援する制度も設けた。動画投稿アプリ「TikTok（ティックトック）」では高校教諭の日常やインタビュー、仕事の様子を紹介している。県教委義務教育課は「教員の質を確保するためには一人でも多くの教員志願者に採用試験を受けてもらう必要がある」としている。

〈小野田洋平〉

(2023年1月18日付 山梨日日新聞1面)

問1

「小1プロブレム」について、説明してください。

.....

.....

問2

県教委は、教員のなり手不足を受け、「加点」以外に、どのような対策の検討や制度を設けましたか。

・検討：

・制度：

問3

動画投稿アプリでは、何を紹介していますか。

.....